幼児期の体験応援プロジェクト

趣旨：幼児期に必要な体力・運動能力の基礎を培うことを目的に、楽しく体を動かして遊ぶ「36 の基本的な動き」を取り入れ、自然体験やクラフト体験を通して意欲や気力、社会性や認知能力の向上を図る。

内容：幼稚園と保育園を対象とした日帰りバス遠足と出前教室を実施した。日帰りバス遠足では、「ひだか冒険の森」を使った自然体験やクラフト体験として缶バッチ作りを行った。出前教室では、忍者をモチーフにして「36 の基本的な動き」を身につけるための運動遊びを提供した。

期間　：令和２年 10 月～12 月
対象　：胆振日高管内の幼稚園、保育園
応募数：12 施設（日帰りバス遠足６施設、出前教室６施設）

【成果】
日帰りバス遠足
〇無料送迎バスを提供したことによって、多くの施設に利用してもらうことができた。
〇利用した施設には保護者向けに「体験の風をおこそう」や「早寝早起き朝ごはん」の啓発資料を配布し、実行委員会の活動について広報することができた。
出前教室
〇「36 の基本的な動き」を取り入れた運動遊びを提供するとともに、「早寝早起き朝ごはん運動」の紙芝居の読み聞かせを行い、普及することができた。
〇忍者をモチーフにすることによって、幼児が取り組みやすい内容だと好評であった。

【課題】
〇日帰りバス遠足では、荒天時のことを考慮し、室内でできる活動等の充実が必要である。